

# オアシス通信



## 恵みの会

### 楽しく和やか 恒例の食事会

恒例の恵みの会食事会が、九月十四日の礼拝後に教会一階を会場に開かれました。七十歳以上の方々を対象にしたものですが、お手伝いの方々や友情参加の方々を含めて三十二名の参加者がありました。賛美あり、高年齢のための体操あり、証しとショートメッセージありと、盛りだくさんのプログラムでしたが、和や

かなひと時はあつという間に過ぎ去りました。

小山牧師は、聖書から「若さを保つ秘訣」と題して以下の四つのポイントで語られました。

①気持ちを若くすること：「もう年だ」と思わず、「まだ〇〇歳だ」と思うことが大切。聖書を読み、学び、考え、いつも気持ちと思いを新しくす

この1カ月以上にわたって、毎週教会の皆様からいやしの証しを受け取っています。了解下さったお二人のお証しをここにご紹介します。

### いやしの恵みに感謝

◆主の御名を讃美します。9月上旬の1週間ほど胃がもたれて薬ばかり飲み、口の横に大きな吹き出物ができていました。何を食べても美味しくないので、食欲がなく、気持ちも落ち込み、熟睡も出来ず困っていましたが、聖餐式の中で祈っていただいたあと、主のいやしを受けました。昼食を友人と食べたのですが（モスバーガーのタコスです）おいしくてぺろっと食べてしまいました。今、お菓子も食べられるし、本当に不思議です。主に感謝です。ありがとうございました。（林昭子）

◆9月21日（日）は、朝からとても激しい偏頭痛に悩まされていて、頭が破裂しそうで、眼球がとても痛く、目の上がキリで突き刺されているような感じがずっとしていました。朝から教会に向かう途中も何度もこの痛みを取り去ってくださいと祈っていました。変わらぬ痛みの中、礼拝が始まり、みんなで賛美をしていた時です。健主事の「イエス様はあなたのために十字架にかかって苦しみを負ってくださいました」と言う言葉を聞いたときに、「イエス様は十字架上でこの痛みよりももっと痛い思いをされたんだ、この痛みはイエス様に近づくための痛みなんだ、この痛みを受け入れます」ということを示されました。その時、私の体に聖霊様が流れ込み、身体中に聖霊様の臨在が溢れていくのがわかりました。そしてそれまでであった目の上の痛みが嘘のようになりました。（青山千秋）

ることが大切。  
②腹八分目：食べ過ぎず、控えめに。  
③神への信仰：外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされる。（IIコリント4・16）体は衰えても、内なる人は聖霊によって日々新たにされることが可能。  
④聖霊による喜び：ローマ14・17、19で平和を求めると、霊的成長を追い求めることの大切さが教えられている。イスラエルの王であったソロモンは、「陽気な心は健康を良くし、陰気な心は骨を枯らす。（箴言17・22）」と語っている。

### 天の山で野外礼拝

九月二十一日午後の第三礼拝は、天の山で「野外礼拝」として行いました。



十六名の参加者とともに天の山のボルゲ師宅跡で、賛美をしメッセージに耳を傾けました。礼拝の前には教会墓地の前で信仰の先輩方の歩みに思いをはせ、礼拝後は有志で山の清掃を行いました。（益田明）